

第11回議会報告会

報告書



令和7年10月
海老名市議会

【目 次】

【海老名市議会報告会開催概要】 ····· P 2

【第1部】 議会の仕組み・議会からの報告 ····· P 3

【第2部】 議会への質問・議会ツアー ····· P 3～5

【議会報告会終了後のアンケート結果】 ····· P 6～7

【広報委員会での検証結果】 ····· P 8

【総括】 ····· P 9～10

【出席議員一覧】など ····· P 11

【海老名市議会報告会開催概要】

○ 目的

開かれた議会を目指し、市民の負託に的確に応えられるよう議会活動の状況等について説明責任を果たすとともに、市民の意見や要望等を広聴するなど、市民との対話の機会を図るため、議会が主体となって議会報告会を開催する。

○ 実施主体及び出席議員

実施主体：海老名市議会（海老名市議会 広報委員会）

出席議員：別紙名簿のとおり

○ 実施日時、実施場所、参加人数など

・対面式

令和7年6月29日（日） 午前10時から午前11時30分まで

海老名市役所 6階 議場 参加人数：12人（うち乳幼児2人）

・ライブ配信

令和7年6月29日（日） 午前9時55分から午前10時45分まで

YouTube 同時視聴最大数：3件

・録画配信

令和7年6月29日（日） ライブ配信終了後から

YouTube 令和7年9月16日（火）まで（視聴回数）：75回

○ 実施内容

1 議長あいさつ

2 【第1部】（1）議会の仕組み

3 【第1部】（2）議会からの報告

4 休憩

5 【第2部】（1）議会への質問

6 【第2部】（2）議会ツアー

【第1部】

(1) 議会の仕組み

市民に議会への興味をもってもらうこと、また知っている方も改めて本市の議会の仕組みを知ってもらうことを目的として、資料「海老名市議会について」を活用して、議会の仕組みについて説明を行いました。

(2) 議会からの報告

令和7年度予算審査にあたって、各分科会で質疑を行った委員から多く取り上げた予算（事業費名）について、その事業費の概要とそれに伴う答弁に関して報告を行いました。報告は、総務、文教社会、経済建設分科会の順で行い、各分科会会长がまとめて説明を行いました。

【第2部】

(1) 議会への質問

議会だより、ホームページなどを通じて事前に質問を募集し、広報委員長が代表して質問への回答を行いました。

«事前に募集した5つの質問»

質問1 議員は普段、どのような活動をされているのでしょうか。

【回答】

市議会議員は、市民の皆様の負託に応えるべく、多岐にわたる活動に従事しております。年4回開催される定例会や必要に応じて開かれる臨時会、特定の案件を深く審議する特別委員会への出席は、議員の根幹をなす公務でございます。それに加え、より良い地域社会の実現に向けて、市民の皆様から寄せられるご相談やご要望に真摯に耳を傾け、そのお声を市政に反映させるための行政への働きかけも重要な責務です。また、効果的な政策立案の基礎となる現地調査や法令の調査研究、さらには地域コミュニティとの連携を深め、現場感覚を養うための地域行事への参加など、その活動は議場内にとどまるものではございません。

質問2 議員の方は、ご自身の意見をあたかも市民の総意であるかのように語ることは慎むべきではないでしょうか。また、市長への抗議等を行う際は、まず現状を十分に調査し、客観的な根拠に基づいて発言すべきです。現代において、耳障りの良い言葉ばかりを並べる議員には、かえって注意が必要だと感じます。

【回答】

議員の発言姿勢に関する、大変貴重なご意見を賜り、誠にありがとうございます。市議会議員の発言は、憲法第21条で保障された表現の自由の範疇にあると解される一方で、公人として、また議会の一員として、その権威と品位を損なうことのないよう、常に高い規範意識のもとで言動することが求められます。市民の皆様の信頼こそが議会活動の基盤であると、私どもは深く認識しております。この度いただきましたご指摘を厳粛に受け止め、今後

は一層、客観的な事実に基づいた慎重な議論を心がけ、責任ある発言と政策提言に努めてまいる所存でございます。

質問3 市内の公共施設に付帯する駐車場が有料化される中、一部でルールの形骸化が見受けられるように感じます。特に、障がい者用駐車スペースが、本当に必要とされる方々によって利用されているのか、時には料金逃れのために使われているのではないかと疑念を抱いてしまいます。利用予約や申し込み制度を徹底するなど、適正な運用を望みますが、いかがでしょうか。

【回答】

障がい者用の駐車スペースは、真に必要とされる方々のために確保されるべきものであり、その適正な利用は極めて重要でございます。市内公共施設の駐車場の多くは、現在、指定管理者制度に基づき、専門の事業者が管理運営を担っております。円滑なご利用のため、議会として、市当局と指定管理者が連携し、全ての利用者が快適に施設を利用できるよう、利用予約や申込みも含めた公正適正な管理運営を求めます。

質問4 市内において保育園が不足していると感じています。今後の増設については、どのようにお考えでしょうか。

【回答】

市内、特に駅周辺地域における保育所の不足は、私ども議会も喫緊の重要課題であると深く認識しております。近年の宅地開発や集合住宅の建設に伴い、若年・子育て世帯の転入が今後も続くと予測されており、保育需要は一層高まるものと考えられます。市当局もこの状況を重く受け止め、直近では市本庁舎敷地内に公設民営の保育所を新たに設置し、本年10月1日の開所を予定するなど、具体的な対策を講じているところでございます。私ども議会としましても、待機児童問題の解消は、未来のまちづくりにおける最優先課題の一つと捉えております。今後も市当局と両輪となって、待機児童ゼロの実現はもとより、質の高い保育環境の整備に向けた様々な取り組みを力強く後押ししてまいりたいと存じます。

質問5 YouTubeで、議員のハラスメント研修に税金を使うべきだと意見を見ましたが、そもそも議員になってからハラスメントについて学ぶというのは本末転倒ではないでしょうか。そのような研修に税金が使われることは、市民感覚からかけ離れていると感じますが、本当にお考えですか。

【回答】

議員の資質に関わる問題につきまして、ごもっともなご指摘、そしてご懸念をいただき、身の引き締まる思いでございます。まず、研修費用についてご説明いたしますと、本年7月に実施を予定しておりますハラスメントに関する研修は、議員個々人が拠出する会費によって運営される「議員会」の予算を充当するものであり、税金を投入するものではありません。しかしながら、税金を使うか否か以前に、このような研修の必要性が生じたこと自体が、誠に由々しき事態であると痛感しております。これは、昨年市が実施した職員アンケートで、議員によるパワーハラスメントと受け取られかねない事案が報告されたことを受け、議会改革特別

委員会で検討を重ねた末の決定でございます。市民の皆様の信託を受け、特別な公務員としての立場にある議員が、その立場を優位なものと誤認し、自覚の有無に関わらず、職員に威圧感を与えてしまったとすれば、痛恨の極みでございます。市民の皆様からいただいたご意見・ご要望を市政に届けるという本来の職務が、結果としてこのような事態を招いたことを深く反省し、二度と繰り返さぬよう、全議員が襟を正し、自らを厳しく律してまいります。この研修を一過性のものとせず、自己研鑽を怠ることなく、市民の皆様の信頼回復に全力を尽くす所存です。

(2) 議会ツアー

議場に入ることも滅多にありませんが、6階には議場以外にも市議会の議事運営にかかる様々な会議室があるので、それぞれの会議室等を実際に見て、その使用方法を知っていただくことで、より議会に精通いただけるのではとの考え方から、今回初めての試みとして議会ツアーを行いました。

詳細については、議員がツアーガイドとなり、議場、図書室、第1委員会室、全協室、各会派控室、正副議長室、議長応接室などを見て回りました。参加された方は皆、御満足いただけた内容だったと感じております。

(なお、議会ツアーについては、放送器具の都合上 YouTube 上に放映してございませんので、ご了承願います。)

【議会報告会終了後のアンケート結果】

＜来場者 10名（乳幼児除く）より回答 アンケート回収率：100%＞

設問1 開催を知った媒体（議会HP、SNS、議会だより、ポスター、その他）

8人 議会だより
1人 その他（市役所に来庁して知った）
1人 ホームページ、議会だより、行政施設での周知ポスター

設問2

① 議会の仕組み

8人 満足（定例会を年4回にした経緯を参考に知りたいと思った）
(ポイントを押された資料で分かりやすい)
(何が行われているか知らなかつたので勉強になった。)

2人 どちらでもない

② 予算審査報告

4人 満足（いろいろ議論されて成立していることが分かった）
(昨年より分かりやすくて良かった)
3人 どちらでもない（反対意見などを知りたかった）
(少し分かりにくくて難しいと感じた)
3人 不満（内容が分からぬ）
(資料を読み上げているだけでつまらない)

③ 議会への質問

6人 満足（リアルな市民の声を拾っている）
(私たちの気持ちをぶつけられるので良い、もっとやってほしい)
2人 どちらでもない（表面的な回答が多く、具体的な回答が少ない）
2人 無回答

④ 議会ツアー

9人 満足（働き方のイメージを持つことができた）
(初めて来たので楽しかった)
1人 無回答

設問3 今後の参加

10人 参加したい

○その他：ご意見・ご感想（※原文そのまま掲載）

- ・広報えびな 5/1 号、7 頁の一般会計の歳出の円グラフの費用名と市民 1 人当たりの予算の使い道の費用名の不一致が多い。広報は、一般市民への情報伝達が目的であると思います。行政経理に詳しい市民が多いとは思えないのですが・・・
- ・当日配布された資料は事前に WEB で見られるようにしては？結果として当日質問の時間がとれる
- ・LINE でのパブコメ募集はとても良いです。現場の意見を聞くことが大切と感じます。
- ・議会の仕組みについては、チャート表による提案が望ましい。議場にある 2 台のモニターのより良く運用できる方法として図の発表時に図を映像に映し出すなどの利用を提案。議会報告会の中で 15 分位、議員数人を囲んだミーティングの場の検討を。より多くの市民参加への周知アピールの検討を。
- ・行政からのフィードバックを議会は受け取っているのでしょうか。図書室に刑法、凡例六法は必要。コンプラ強化のため、事務局にも刑法の教育は必要。
- ・娘が 2 歳なので心配でしたが連れて来て良かったです。娘も海老名で色々なことに触れて生きていく上で大切にしたいと思ったことなど自分の意見を伝えていたらもっと良くなるなと思いました。ぜひ子育て支援に力をいれてほしいです。
- ・議員さんとざっくばらんに話す機会、時間もあるともっと良いと思いました。
- ・市民からの質問のハラスメント研修について、年代や性別によってもハラスメントの認識が異なるし毎年アップデートされるものだと思います。特別な学歴や資格なく市民が議員になれることを考えると同じ定規を皆が一緒に研修を受けることは大切と思いました。威圧的な態度に怯むことなく風通しの良い議会を作る為には大切。

【委員会での検証結果】

- ・「議会の仕組み」・「予算審査報告」については書かれていることを読む形式より、ポイントをかいつまんで説明する方法への変更が必要と感じた。
- ・前回同様ツアーレの運用は全体的に良かった。特に今回は時間に余裕ができたので、市民から市政から国政まで全般的な内容についての質問が多くかった。
- ・議会や議員の仕事に関心のある方が多く来庁されたと感じた。議会ツアーレのなかで様々な質問を受けたが、その場で気軽に質疑をする、受ける場も必要と感じた。ただ一方で、会派によって異なる意見、考え方を回答する場合についてはそれぞれの会派での回答が必要であるため、そういった運営面での難しさを感じた。
- ・小さな子連れ家族の参加があったが満足いただけて良かった。議会報告会を開く意義があった。一方で保育資格をもつ議員マターで子ども対応をするのは方向性として違うと思う。今後は事前に対応できる職員等を用意するなどが必要と感じた。
- ・広報の開催周知の工夫が出来れば、参加者は増えるのではと思う。
- ・新人委員（議員）も報告会に携わるのが2回目ということで、皆臨機応変に対応出来ていたと感じた。出席者の人数の少なさから議会報告会のあり方の検討の1つとして、市民の様々な声を集め、それに回答するような形式に変えるなど開催方法の変更を検討しても良いと思う。
- ・議会報告会を現在の形式から別形式（ワールドカフェ形式）で変える内容を提案する。他自治体の事例を参考に同じ形で実施を検討したい。
- ・そもそも議会に対する関心の低さが問題であり、議会自体に興味をもってもらえる取り組みを検討すべきでは。夏休みをうまく使い、保護者と子どもの両方が参加する企画を提案する。
- ・当日のLIVE中継閲覧者がほぼ居なく、参加者も計12名の少なさであり、議会報告会の内容云々ではなく、議会報告会そのもののあり方を再検討すべきと考える。一部の市民ニーズに合わせた形式に変更するなどいくら色々展開してもそれは付け焼き刃で参加者を増やすこと、ひいてはより多くの市民に議会を知っていただくという趣旨と異なるのではないか。次回の開催方法等を根本的な部分から検討し直して実践したい。
- ・小学6年の社会科で三権分立について触れ、中学生の公民で更に深く学ぶので主権者教育のやり方があっても良いと感じる。
- ・ただ聞く、見て回るという形式ではなく、大人、子どもも交えた一日議員体験会（昨年まで開催した中学生みらい議会の派生したような形式）であれば、市民、特に子どもたちや親の議会に対する興味を引き出せるのではないかと考える。

以上の検証結果を行い、次期広報委員会に引き継いだ。

【総括】

第11回議会報告会は、「開かれた議会」を目指し、市民の皆様の負託に応えるべく説明責任を果たし、意見や要望を広聴するなど、市民との対話の機会を図るという目的に基づいて開催されました。昨年度の参加者増加を踏まえ、内容の部分的な改善を図り、市民にご満足いただけることを目指しましたが、開催結果を見ると、参加者数の大幅な減少という明確な課題が浮き彫りとなりました。

《参加状況と広報の課題》

今回の議会報告会の対面式参加者は12人（うち乳幼児2人）に留まり、昨年度と比較して参加者が半減しました。また、YouTubeでのライブ配信の同時視聴は最大3件、録画配信も令和7年9月16日までに73回の視聴回数でした。この数字は、広範な市民への情報到達という点で大きな課題があることを示唆しています。

開催を知った媒体については、アンケート回答者10名中8人が「議会だより」と回答しており、情報伝達手段の偏りが見受けられます。委員会での検証結果では、「広報の開催周知の工夫が出来れば、参加者は増えるのでは」との意見が出されており、広報戦略の見直しが喫緊の課題です。参加者減少の要因としては、開催日時が閉庁日（日曜）だったこと、事前申込制度、事前申込者への開催直前案内の不足、開催内容が昨年と概ね同じで昨年参加者が敬遠したことなど、様々な要因が考えられています。委員会からは、「議会報告会そのもののあり方を再検討すべき」といった根本的な課題認識も示されています。

《実施内容と市民の評価》

乳幼児を除く来場者10名全員からアンケート回答があり、その10名全員が「今後の参加を希望する」と回答していることから、参加した市民層への満足度は一定程度得られたと考えられます。

1. 「議会の仕組み」 報告

参加者10名中8人が「満足」と回答しました。特に「ポイントを押された資料で分かりやすい」「何が行われているか知らなかつたので勉強になった」といった肯定的な意見が寄せられ、市民に議会への興味を持ってもらうという目的には、一定の成果があったと言えます。

2. 「議会からの報告」（予算審査報告）

昨年度の「分かりにくい、長い」という意見を踏まえ、主要事業費に絞って概要説明と質疑答弁の報告を行う改善が施されました。その結果、4人が「満足」と回答し、「昨年より分かりやすくて良かった」という声も聞かれました。しかし、3人は「どちらでもない」、3人は「不満」と回答し、「内容が分からぬ」「資料を読み上げているだけでつまらない」といった意見が寄せられました。広報委員会でも「書かれていることを読む形式より、ポイントをかいづまんで説明する方法への変更が必要」という検証結果が出ており、報告内容の「伝え方」に継続的な課題が認識されました。

3. 「議会への質問」

前回に引き続き事前に募集した質問への回答形式としましたが、6人が「満足」と回答し、「リアルな市民の声を拾っている」「もっとやってほしい」といった積極的な意見がありました。YouTube中継等をご覧になった方からの議員に対する意見が多く寄せられたことは、議会への市民関心の高さを示すものであり、広報広聴活動の重要性

を改めて感じさせられました。一方で、2人から「表面的な回答が多く、具体的な回答が少ない」という意見や、当日質問したかったという声もあり、市民が求める双方向の対話機会の提供については今後の検討課題です。

4. 「議会ツアー」

初の試みである議会ツアーは、時間を充當したことで、参加者10名中9人が「満足」と回答する非常に高い評価を得ました。参加者からは「働き方のイメージを持つことができた」「初めて来たので楽しかった」といったコメントがあり、ツアー中に自然な会話が生まれるなど、議会を身近に感じる取り組みとして好評でした。委員会でも「前回同様ツアーの運用は全体的に良かった」と評価されています。小さな子連れの家族の参加もあり、多様な層への受容性を示唆しています。

《今後の方向性》

今回の議会報告会は、対面参加者やオンライン視聴数の減少という明確な課題を抱えながらも、参加者からは議会ツアーへの高い満足度や今後の参加意向が示されるなど、一部で肯定的な評価も得られました。

広報委員会からは、低参加者数を踏まえ、「議会報告会のあり方の検討の1つとして、市民の様々な声を集め、それに回答するような形式に変えるなど開催方法の変更を検討しても良い」といった意見や、ワールドカフェ形式、夏休み期間を活用した親子参加企画、一日議員体験会など、根本的な開催形式の見直し提案が複数出されています。

議会として最も大切なことは、市民の皆様に市政についての結果を分かりやすく報告し、そして議会を身近に感じ、市政に興味を持っていただけるよう取り組むことです。今後は、これらの定性的・定量的な検証結果に基づき、開催方法や内容を抜本的に見直し、「より多くの市民に議会を知っていただく」という趣旨に立ち返り、一層多くの市民が議会に興味を持てるような環境づくりを継続的に研究していく必要があります。

【出席議員一覧】

戸澤 幸雄（議長）
永井 浩介（副議長）
森 英之（広報委員会委員長）
ありい あいこ（広報委員会副委員長）
藤枝 ふみひこ（広報委員）
鈴木 さよ子（広報委員）
大塚 真樹（広報委員）
星 伸一（広報委員）
たいら 学（広報委員）
さの るみ（広報委員）
倉橋 正美（総務分科会会长）
宇田川 希（文教社会分科会会长）
たち 登志子（経済建設分科会会长）
藤澤 菊枝
森下 賢人
松本 正幸
田中 ひろこ
吉田 みな子
三宅 紀昭
大下 久美
伊左次 雄介

【当日欠席者】

葉梨 之紀